

## 1. 普及啓発

### ●障がい者週間(12月3日～9日)に関連した啓発

**病気や事故で脳にダメージを受けたら、もしかすると!?**

脳卒中などの病気や交通事故などのあと、このような症状はありませんか？

- ぼんやりしている
- 約束を忘れてしまう
- 気が散りやすい
- 段取りがわるくなる

それは「**高次脳機能障がい**」かもしれません

高次脳機能障がいは、病気や事故によって脳が損傷された結果、記憶や注意、思考、言語、感情、行為といった脳の働きに障がいが生じた状態のことをいいます。この障がいによって日常生活や社会生活でさまざまな困難を経たり、外見上わかりにくいという特性から、周りに理解されにくくなります。

医療部門 (診断を受けた方はこちら)	相談部門 (相談を受けた方はこちら)	相談部門 (相談を受けた方はこちら)
大阪府立 障害支援センター (リハビリテーション科)	大阪府障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター
高次脳機能障がいに関する診断や治療を行っています。	社会生活を営むるために、入所もしくは通所による訓練を行っています。	様々な相談に応じたり、普及啓発イベントや研修・相談会等を開催しています。
TEL 06-6692-1201(代換) FAX 06-6692-2978	TEL 06-6692-2971 FAX 06-6692-2974	TEL 06-6692-262 FAX 06-6692-5340

※市民の方：堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンターへご相談ください  
TEL 072-275-5019 FAX 072-243-0202

### ①ポスター配布

障がい者週間等で活用してもらうため、府内全市町村に啓発用ポスターを配布。

### ②府政だよりの記事掲載

令和7年12月1日発行の府政だより12月号で、障がい者週間で特集を組み、自立Cや第2工房「羅針盤」等、高次脳機能障がいのある方が利用する施設や事業所の写真を紹介付きで掲載。新聞への折り込み、大阪府HP、YouTube、X等で周知。

**府政だより** 12月号

障がいに応じた支援のもと、個々の能力を生かした働き方をしています。

12月3日～9日は障がい者週間です！

障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けるために「知る」ことで障がいへの理解を深めてみませんか？

自立をめざす 障がいの状態に合わせてリハビリをしながら自立をめざしています。

暮らし 障がいのある人が希望した暮らしができるよう、必要なサービスを受けながら生活しています。

自立をめざす障がい者へ支援を行う職員にお話を聞きました

障がい者週間関連のお知らせ

障がい者週間行事表彰を実施します

心の輪を広げる体験作文・障がい者週間のポスターの最優秀作品が決定しました

この記事のお問い合わせ先： 府障がい福祉企画課 TEL 06(6944)7086

## 1. 普及啓発

### ●障がい者週間(12月3日～9日)に関連した啓発

#### ③インターネットテレビ(大阪府TV)

令和7年12月4日放送の「大阪府TV」内にて、「障がい者週間『障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けるために』」と題して高次脳機能障がいの説明や、自立Cの紹介などを行った。

二次元コード  
を入れる

(大阪府TVライブ動画)



## 1. 普及啓発

### ④府医ニュースへの記事掲載

令和8年3月4日発行の府医ニュースに、子どもの高次脳機能障がい支援について、「こどもの高次脳機能障がいサポートブック」やその一部を紹介した支援普及チラシを作成し、普及啓発に取り組んだことを掲載。

また、医療と福祉が連携した取り組みとして、医療や福祉の支援者を対象にした研修を実施したことや二次医用圏域ごとのネットワーク構築の取り組みなども併せて掲載

大阪府医ニュース

大阪府医師会 発行  
 発行人 加納康至  
 〒43-8335大阪府天王寺区上本町  
 2丁目1-22 電話(0776)7013  
 購読料 年1万円(送料込・税別)  
 (本会会員は会費に購読料を含む)

2026年(令和8年) 3月4日 第3137号 毎週水曜日発行 昭和25年9月7日  
 (但し第2週を除く) 第三種郵便物認可

#### 子どもの高次脳機能障がい支援について

高次脳機能障がいは、記憶や注意、感情のコントロール等に影響を及ぼし、その症状は多岐にわたります。小児期に発症した場合は、学校生活での学習や友人関係がうまくいかなくなることもあり、適切な支援がなければ症状が複雑化する等、二次障がいにつながる可能性があります。小児期発症の高次脳機能障がいに関する実態等が十分に把握されていないことから、大阪府では令和6年度に「子どもの高次脳機能障がい理解促進事業」の一環として調査事業を行いました。地方独立行政法人大分県市民病院機構大阪府立総合医療センターによる調査からは、支援の調査からは、学校等に一定数の高次脳機能障がいのある児童が在籍すること等が明らかとなりました。調査結果を踏まえ、理解促進と適切な支援が行われるよう、小児の高次脳機能障がいの特徴や支援方法を記載した「こどもの高次脳機能障がいサポートブック」を作成しました。あわせて、その取り組みを進めています。具体的には、電話等による相談支援をはじめ、医療従事者や

医療と福祉が連携した取り組み

大阪府では、医療機関等のご協力も得て高次脳機能障がいに関する取り組みを進めています。具体的には、電話等による相談支援をはじめ、医療従事者や

年度に「子どもの高次脳機能障がい理解促進事業」の一環として調査事業を行いました。地方独立行政法人大分県市民病院機構大阪府立総合医療センターによる調査からは、支援の調査からは、学校等に一定数の高次脳機能障がいのある児童が在籍すること等が明らかとなりました。調査結果を踏まえ、理解促進と適切な支援が行われるよう、小児の高次脳機能障がいの特徴や支援方法を記載した「こどもの高次脳機能障がいサポートブック」を作成しました。あわせて、その取り組みを進めています。具体的には、電話等による相談支援をはじめ、医療従事者や



詳細はこちら

## 1. 普及啓発

### ④交野市健康福祉フェスティバル

日時:令和7年11月9日(日) 10時~14時  
場所:ゆうゆうセンター 相談支援部会ブース  
府からポスター・パンフレット・ティッシュ等の普及啓発グッズを提供。  
府の普及啓発動画を流し、来場者へ高次脳機能障がいについて説明を実施していただいた。



### ⑤第22回共に生きる障がい者フェスティバル

日時:令和7年11月15日(土) 10時~16時半  
場所:国際障害者交流センター  
ビッグ・アイ エントランスホール  
ポスター掲示・チラシ配架等で取組紹介を行い、来場者に高次脳機能障がいを知ってもらうきっかけ作りを行った。



## 2. 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会

一般社団法人 日本損害保険協会の助成を受けて実施。  
 医療・福祉などの関連専門職、当事者・家族などを中心に構成する「リハビリテーション講習会実行委員会」を設置して、本講習会の企画・運営を行うこととなっており、大阪府も普及啓発の一環として協力。

目的: 当事者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換

方法: 大阪シティアカデミー第4会議室での対面開催及びYouTubeでのオンデマンド配信

日時: 令和7年11月30日(日) 14時15分～16時

※オンデマンド配信は令和7年12月22日から令和8年1月18日まで実施

内容: ①高次脳機能障がいの基礎知識と支援の実際

②当事者と家族による体験談

定員: 会場60名・webは定員なし(いずれも事前申込制)

参加者: 169名(会場参加: 49名・web受講: 120名)



主催: 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会実行委員会  
 後援: 大阪府、堺市、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府歯科医師会、一般社団法人大阪府私立病院協会、一般社団法人大阪府精神科病院協会、公益社団法人大阪府精神科診療所協会、一般社団法人大阪府言語聴覚士会、一般社団法人大阪府作業療法士会、大阪府臨床心理士会、特定非営利活動法人大阪医療ソーシャルワーカー協会

\*この講習会は一般社団法人日本損害保険協会自賠責運送業務損害賠償出稼による助成を受けています

お申込みは要項をご覧ください

## 3. 普及啓発用ツール

- ・普及啓発を行うため、府民や支援者等が、いつでも気軽に知識を習得することができるような普及啓発用ツールの作成・公開に向け、令和7年8月及び令和8年1月の計2回、外部有識者を交えた検討会を開催。
- ・検討員から、高次脳機能障がいのある方の実態に基づいたものも踏まえ、様々な意見をいただきながら、令和8年3月に、⑤と⑥の2本の動画を公開。動画制作にあたっては、しぶやちあき氏からイラスト提供。
- ・令和7年度に作成する動画のテーマは下記のとおり。
- ・令和8年度は⑦について、外部有識者の検討員の意見を聞きながら制作予定。

作成年度	タイトル	内容
令和5年度	①事故や脳の病気のあともしかすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
令和5年度	②診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や流れ、他障がいとの共通点や違い
令和6年度	③家庭内でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあともしかすると～	症状、対応方法、当事者・家族の会紹介
令和6年度	④買い物先・役所・銀行でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあともしかすると～	症状、対応方法、福祉サービス紹介
令和7年度	⑤職場でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあともしかすると～	症状、対応方法、就労支援
令和7年度	⑥学校でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあともしかすると～	症状、対応方法、合理的配慮
令和8年度	⑦当事者・家族からのメッセージ	当事者・家族の困りごと、思いなど

### 【参考】

令和7年度⑤  
(R8.3公開)

公開後  
掲載予定

令和7年度⑥  
(R8.3公開)

公開後  
掲載予定

### 4. 研修

#### ①令和7年度高次脳機能障がい市町村担当職員研修

目的:障がい特性を踏まえ、個別性の高いケースに応じて、どのような福祉サービスで地域生活を支えるかや市町村内での他部署との連携の必要性等についての理解を深める。

日時:令和7年7月17日(木) 10時～ 8月7日(木) 16時

方法:オンデマンド配信(YouTube限定配信)

参加者:19市町村 37名

#### ②令和7年度大阪府高次脳機能障がい支援者養成研修

目的:高次脳機能障がいについての知識を得ることやその障がい特性を理解することで、高次脳機能障がいの障がい特性に応じた支援を実施できる、障がい福祉サービス事業所等に従事する支援者の養成。

実施期間:<基礎研修> 講義:令和7年8月14日～8月27日 演習:令和7年9月9日もしくは9月11日

<実践研修> 講義:令和7年9月12日～9月26日 演習:令和7年10月9日もしくは10月17日

受講者決定者:122名

修了者:108名

#### ③令和7年度高次脳機能障がい医療機関等職員研修会

目的:医療職を対象に、病院での今後の支援に活かすため、京都大学大学院 村井俊哉教授を講師に迎え、高次脳機能障がいのある方がどのような支援を受けているかについて理解を深める。

日時:令和8年2月8日(日) 10時～12時15分

方法:web(Zoom)

定員:90名程度 参加者:78名